Nestlé

Good Food, Good Life

Nestlé in society
共通価値の創造と 2017年私たちのコミットメント

ネスレ2017年アニュアルレビュー抜粋

ネスレのコミットメント

共通価値の創造の章で紹介する 41 のコミットメントは、ネスレの全社的な取り組みを具体的な目標達成へと導くものです。

ネスレは日々、世界中の何十億という人々の生活に関わっています。原材料の栽培にあたる農業従事者やネスレ製品を楽しんでくださる家族から、私たちが暮らし働くコミュニティ、そして私たちすべてが依存する自然環境にいたるまで、ネスレは関わりを持っています。

個人と家族のために

1,000以上

子どもの栄養摂取調査に基づき、日々の栄養ニーズとその不足への対応として発売した栄養価の高い新製品の数

1,740億サービング

微量栄養素が不足しがちな66カ国における、微量栄養素強化食品飲料のサービング数

401億スイスフラン

「ポーションガイダンス」を提供している製品の売上

8,000以上

栄養や健康に配慮して改良された年間製品数（2012〜2016年の平均）

コミュニティのために

1億5,990万本

農業従事者に配布したコーヒー苗木の数
2020年までの目標2億2,000万本に対して、2010年以降の累計

41,867

*Nestlé needs YOUth*の取り組みを通じて、若者に提供した雇用機会、研修、もしくは実習

57%

12の主要カテゴリーの原材料と紙の総量のうち、責任ある調達の実施割合

43万1,000人

能力開発プログラムを通じて研修を受けた農業従事者の数

地球のために

33.2%

製品1トンあたりの温室効果ガス排出量（スコープ1および2）を2007年と比較して削減した割合

253カ所

廃棄物ゼロを達成した工場数

38.1%

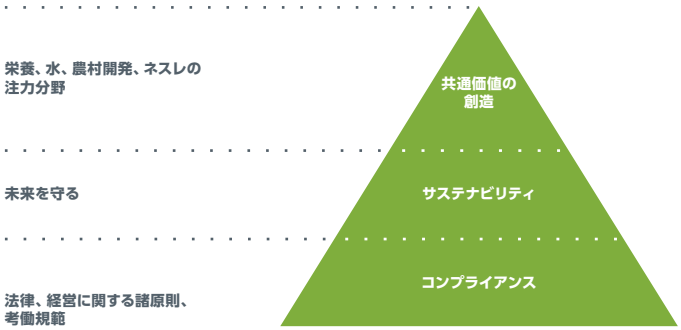
製品1トンあたりの取水量を2007年と比較して削減した割合

25.7%

使用する電力に占める再生可能エネルギー源の割合

共通価値の創造

ネスレは、株主の皆さまと社会全体のために価値を創造することが、企業としての長期的な成功につながると考えています。共通価値の創造（CSV）と呼ばれるこのアプローチが、ネスレの事業活動における原則です。共通価値の創造によって、生活の質を高め、さらに健康な未来づくりに貢献しますというネスレの存在意義は現実のものとなります。



もっと詳しく知りたい方へ

ネスレの経営手法とガバナンス構造についての詳細、業績データ、事例研究やその他の情報については、ネスレのウェブサイトで公開している完全版の年次報告書『Nestlé in society – Creating Shared Value』と、同ウェブサイトのNestlé in societyのセクション（www.nestle.com/CSV）（いずれも英文）をご覧ください。

最大限の価値を創造する

共通価値の創造の取り組みを通じ、ネスレは株主の皆さまだけでなく、社会全体にも価値を創造することを目指しています。共通価値の創造における優先課題はネスレの事業と社会が最も深く交わる分野にあります。これらの分野には栄養、農村開発、水が含まれます。

ネスレは、事業を成長させながら社会にプラスの影響をもたらします。ネスレは、個人と家族のためにさらに健康で幸せな生活を実現し、困難に負けない活力のあるコミュニティを育成し、そして未来の世代のために地球の天然資源を守ります。

そのための指針として、ネスレは長期的な目標と具体的なコミットメントを打ち立て、これらに照らして、毎年進捗状況を透明性をもって報告しています。目標達成に不可欠なのは、サステナビリティ、人権、そしてコンプライアンスへの確固としたアプローチです。

2017年9月18日、ニューヨーク–ネスレ会長のポール・ブルケは、ネスレの継続的な共通価値の創造の取り組みを主導し、国連の持続可能な開発目標（SDGs）を支援した功績により、2017年コンコーディア・リーダーシップ・アワードを受賞しました。

ネスレの価値観

以上のすべての取り組みの根底には、敬意に根差したネスレの価値観があります──すなわち、私たち自身と他者、多様性、そして未来に敬意を払うことです。これらの価値観を指針として、ネスレはパートナーやステークホルダーの皆さまとともに、共通価値の創造へのアプローチをネスレのあらゆる行動、方針と活動に確実に浸透させていくよう引き続き取り組んでいきます。

共通価値の創造のビジネスケース

事業への長期的なアプローチは、ネスレが創業以来受け継いできたことの一つです。ネスレは共通価値の創造を通じて、持続可能な開発を事業活動に取り込んでいます。このような取り組みは、長期投資家の間で重要性が増しつつあります。

共通価値の創造は、社会への価値も生み出しながら経済価値を創出することにより、事業活動と社会を結び付けます。栄養・健康・ウェルネスの側面を持つ食品飲料は、より良い業績を収めます。農業従事者のための農村開発プログラムは、消費者に商品の差別化をもたらし、水資源の責任ある管理活動は、コスト削減と事業に必要な供給量確保につながります。

ステークホルダーとの関わり

重要課題について他者と関わることは、ネスレの事業活動の中核をなしています。ネスレは、専門家や支援者から助言を求めながら、企業方針とコミットメントの策定、事業の強化、そして投資対象の設定にあたっています。

ステークホルダー会議や共通価値の創造の関連イベントは、この対話を強化し、企業と社会が交わる分野についての理解を深める機会になります。さらに、協働活動を促進し、信頼と相互尊重を深めます。2017年3月、ネスレCEOのU.マーク・シュナイダーは、ロンドンで開催されたステークホルダー会議に出席しました。この会議には、多数の機関から66名の代表者が参加しました。

ネスレの重要課題

ネスレでは、独立した第三者機関による正式な重要課題評価を2年ごとに実施しています。この評価により、ネスレの事業とステークホルダーは最も重要な課題を特定し、より良い戦略的な意思決定と報告ができるようになります。ネスレの評判、収益、コストに関するリスクと機会を決定するために、懸念される課題を評価します。
ネスレの最も重要な課題は、以下の通りです。

- 栄養の過剰摂取と低栄養
- 水の管理
- 人権
- 食の安全、製品の安全
- 責任あるマーケティングと影響力
- 企業倫理
- 資源の利用効率と（食品）廃棄
- 責任ある調達と生産履歴管理
- 気候変動
- 農村開発と貧困緩和

ネスレは、生活の質を高め、さらに健康な未来づくりに貢献します

生活の質を高め、さらに健康な未来づくりに貢献します、という存在意義に動機付けられたネスレの2030年に向けた長期的な目標は、国際連合の持続可能な開発のための2030アジェンダに合致しています。

影響を重視

ネスレは、私たちが皆、相互につながり合った世界の中で生きており、私たちの未来は分かちがたく結び付いていると認識しています。このため、3つの主な影響分野におけるネスレの取り組みは、41のコミットメントによって支えられています。その多くは、取り組みの狙いを2030年に向けた3つの長期的な目標の達成に定めています。ネスレは、17項目の持続可能な開発目標（SDGs）の策定を支援し、多くの同様の企業とともに、目標の実現に向けて貢献しています。

長期的な目標に向けた取り組み

私たちは、持続可能な開発目標（SDGs）をネスレの共通価値の創造のアプローチに取り入れています。2017年には、2030年に向けた長期的な目標の達成と、17項目のSDGsへの貢献に向けて成長を推進していくため、さらに歩みを進めました。例えば、*Nestlé for Healthier Kids*プログラムの強化、*Nestlé needs YOUth*の取り組みの拡張、水資源の責任ある管理活動の拡大などです。

個人と家族のために

さらに健康で幸せな生活を実現します

食品は栄養源であるだけでなく、家族や友人同士の結び付きを強めてくれます。食はあらゆる文化の一部です。しかし、食品は、公衆の健康に関する最大の課題の一つでもあります。肥満が1980年から倍増する一方、何百万人もの人々が飢餓や栄養不良に苦しんでいます。ネスレは、さらにおいしく健康的な製品やサービス、さらに健康的な生活を奨励する情報提供プログラム、そして何百万人もの子どもたちが望ましい食習慣を身に付け運動を楽しめる活動などを通じて、個人や家族を支援します。

2030年に向けた長期的な目標：5,000万人の子どもがさらに健康な生活を送れるよう支援します

関連する共通価値の創造影響分野

– 栄養

子どもの健康改善を目指す取り組み

ネスレは、さらに健康的な製品を提供し、家族の飲食習慣の改善と運動の増加を支援することにより、人々の生活の質を高め、さらに健康な未来づくりに貢献します。親や保護者の支援を目的としたネスレのすべての取り組みを統合したプログラム、*Nestlé for Healthier Kids*を立ち上げました。このプログラムには、研究、製品開発、教育(啓発）、そしてライフスタイルに関するサービスなどが含まれます。

持続可能な開発目標（SDGs）の支援

- 1 貧困をなくそう
- 2 飢餓をゼロに
- 3 すべての人に健康と福祉を
- 4 質の高い教育をみんなに
- 5 ジェンダー平等を実現しよう
- 10 人や国の不平等をなくそう
- 12 つくる責任 つかう責任
- 13 気候変動に具体的な対策を
- 14 海の豊かさを守ろう
- 15 陸の豊かさも守ろう
- 17 パートナーシップで目標を達成しよう

コミュニティのために

困難に負けない活力あるコミュニティを育成します

世界では12億人の人々が極度の貧困状態で生活しており、その多くは農村地域に住み、農業に依存しています。ネスレの長期的な目標は、生活の向上を支援し、活力あるコミュニティを育成することです。世界各国に拠点を置くネスレは、収入の向上、教育の促進、人権の尊重、女性や若者の支援を通じて、農村開発の改善に取り組むことができます。

2030年に向けた長期的な目標：ネスレの事業活動に直結するコミュニティに暮らす3,000万人の生活向上

関連する共通価値の創造影響分野

- 農村開発
- 人材、人権とコンプライアンス

若者の支援

ネスレの若者のためのグローバルイニチアチブ*Nestlé needs YOUth*に関する長期的な目標は、2030年までに世界の1,000万人の若者が経済的機会を得られるように支援することです。このグローバルイニシアチブは、世界中の若者を支援するネスレとそのパートナーのすべての活動を統合し、整理したものです。

持続可能な開発目標（SDGs）の支援

- 1 貧困をなくそう
- 3 すべての人に健康と福祉を
- 4 質の高い教育をみんなに
- 5 ジェンダー平等を実現しよう
- 8 働きがいも経済成長も
- 10 人や国の不平等をなくそう
- 12 つくる責任 つかう責任
- 16 平和と公正をすべての人に
- 17 パートナーシップで目標を達成しよう

地球のために

未来の世代のために資源を守ります

天然資源はますます制約されています。生物多様性が急速に損なわれ、森林消失は依然として進んでいます。水もますます不足する傾向にあり、しかも、気候変動によって私たちが現在直面する課題がことごとく悪化することが予想されます。さらには、毎年生産された食品の3分の1が食品ロスとなるか、廃棄されています。持続可能な成長のためには、地球の資源を賢く利用し、ネスレの世界的な影響力を活かしてプラスの変化をもたらさなくてはなりません。

2030年に向けた長期的な目標：ネスレの事業活動における環境負荷ゼロを目指す取り組み

関連する共通価値の創造影響分野

- 水
- 環境サステナビリティ

環境パフォーマンスの改善

私たちは、ネスレのバリューチェーン全体で温室効果ガス（GHG）をさらに削減することで、気候変動対策を実行します。製品1トンあたりの取水量の削減と、安全な水と公衆衛生の利用機会の拡大を引き続き支援します。廃棄物削減も優先課題であり、可能な限りリユースやリサイクルをします。また、ネスレとともに働く農業従事者が持続可能な活動を導入できるように支援します。

持続可能な開発目標（SDGs）の支援

- 1 貧困をなくそう
- 2 飢餓をゼロに
- 3 すべての人に健康と福祉を
- 6 安全な水とトイレを世界中に
- 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに
- 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
- 11 住み続けられるまちづくりを
- 12 つくる責任 つかう責任
- 13 気候変動に具体的な対策を
- 14 海の豊かさを守ろう
- 15 陸の豊かさも守ろう
- 17 パートナーシップで目標を達成しよう

さらに健康で幸せな生活を実現します

ネスレは、創業者アンリ・ネスレの精神を受け継ぎ、栄養を中心に置いて、生活の質を高め、さらに健康な未来づくりに貢献する食品飲料をお届けするためにパートナーとともに取り組んでいます。

私たちは、ネスレ製品をさらにおいしく健康的に改良し、消費者にさらに健康的な生活を推奨し、栄養と健康の関係について私たちの理解を深めて共有するためのコミットメントと目標を設定しました。

オーストラリアの代表的なオートミールブランド*Uncle Tobys*から、糖類を添加しないで、ドライフルーツとナッツで自然な甘味を加えた*Nature's Mix*シリーズを発売しました。

さらにおいしく健康的な製品とサービスを提供する

栄養はネスレの事業と社会が最も深く交わる分野であり、ネスレはこの分野において、栄養の過剰摂取と低栄養という世界規模の人々の健康課題への取り組みを支援することができます。消費者が健康的な食事を維持できるように、必要な栄養素が含まれたおいしくて便利な製品やサービスを提供することが重要です。

ネスレは、原材料リストを簡素化し合成着色料の使用を止めていくと同時に、現地の人に不足しやすい微量栄養素を添加した栄養価の高い食品飲料を発売しています。

科学的な進歩により、菓子製品に含まれる糖類の総量を、おいしさを損なわずに最大40%まで削減できるようになりました。最初の製品は2018年に発売されました。

また、世界保健機関（WHO）が推奨する1日あたりの食塩摂取レベル目標の達成を支援するために、2020年末までに対象製品に使用する食塩の量を平均10%さらに削減するというコミットメントを強化しました。

7%

乳とカカオの使用量を増やすことで、「キットカット」の糖類含有量を削減した割合

1,740億 サービング

微量栄養素が不足しやすい66カ国における栄養強化食品飲料のサービング数

投資家にとっての付加価値

健康志向の食品や飲料市場は拡大しています。栄養・健康・ウェルネスを訴求する食品飲料製品は、業績に貢献しています。乳児から高齢者までのニーズに対応したネスレの幅広い製品ラインアップと、製品イノベーションへの継続的な投資によって、ネスレはこの機会を十分にとらえることができます。

ネスレの食品飲料製品で栄養・健康・ウェルネス面の評価が平均を上回る製品は、成長率が他の製品の1.8倍で、収益率は1.5倍です。明らかに財務的効果を高める機会となります。さらに、ネスレの健康・ウェルネス活動は、法規よりもさらに厳しい基準に基づいて行われるため、規制の不順守による損失リスクを軽減することにもつながっています。

毎年2,200万人以上の子どもたちが、「ネスレ ミロ」の身体活動推進プログラムの恩恵を受けています。2017年に締結されたFCバルセロナとの新たなパートナーシップでは、さらに何百万人もの子どもたちにスポーツへの参加を呼びかけていきます。

2016年、ネスレは一部の菓子製品について、糖類の削減を可能にする新たな糖粒子の形成法を発表しました。2017年にこの技術の規模を拡大、2018年に最初の製品を発売しました。

さらに健康的な生活を奨励する

ネスレは、生活習慣病を減らせるように、栄養摂取の機会向上に取り組んでいます。パートナーと協力し、バランスのとれた食事、健康的な調理法や水分補給、定期的な運動習慣を奨励します。栄養情報やポーションガイダンスの提供と、責任あるマーケティングを通じて、人々がさらに健康的な生活を送るよう働き掛けています。

*Nestlé for Healthier Kids*では、インターナショナルシェフズデイを記念して、ネスレ プロフェショナルのシェフと50カ国以上の子どもたちが参加する料理ワークショップを実施しました。タイでは「ミロ」の低糖飲料（液体飲料）が発売され、「ミロ」スポーツプログラムに参加した子どもの数は1,000校100万人以上に達しました。

89.4%

ネスレの食品飲料のうち、パッケージ前面に1日あたりの栄養ガイドを表示した製品の割合

81カ国

*Nestlé for Healthier Kids*の参加国数

栄養知識を構築、共有、応用する

ネスレの研究者は、さまざまな世代における栄養と健康の関連性を研究しています。母子の健康から健康的な加齢まで、全体的なアプローチを採用しています。重点を置くのは、栄養と運動、そしてそれが代謝上の健康に与える複合的な影響です。研究成果はネスレの食品飲料製品の改良に活用されています。

ネスレの「乳幼児への栄養供給の研究（FITS）」と「子どもの栄養と健康に関する研究（KNHS）」では、乳児と子どもの食習慣についての研究を継続してきました。例えば、米国のFITSでは、年長の乳児と幼児の30%が毎日野菜をごくわずかしか、あるいはまったく食べていないことがわかりました。2017年には、研究成果として、野菜（主原料）1サービングと果物4分の3サービングがとれる栄養スナック*Gerber Grabbers Strong Veggies Squeezable Puree*を発売しました。

17億2,400万スイスフラン

研究開発への投資額

313件

ネスレの研究者が発表した栄養知識に関する研究論文の数

困難に負けない、活力のある コミュニティを育成します

ネスレは、社員に加え世界各地の何百ものパートナー、何千ものサプライヤー、何百万人もの農業従事者と一緒に仕事をしています。全員が一致団結して目指すことは、確実で長期的なサプライチェーンの一環として、困難に負けない活力のあるコミュニティを育成することです。ネスレのプログラムとコミットメントは、農村開発の支援、人権の尊重と推進、公正な雇用と多様性の確保を目的として策定されています。

ネスレは、「ネスレ カカオプラン」の一環として児童労働モニタリングと改善要請システム（CLMRS）を開発しました。第1回報告書『児童労働への取り組み』に詳述しているとおり、人身取引の撲滅を目指す非営利団体ストップ・ザ・トラフィックによれば、CLMRSはカカオ生産分野で働く子どもの支援を目的としたこれまでで最も包括的なプログラムです。

農村開発と農村の生活を向上させる

ネスレのサプライチェーンには400万人を超える農業従事者がおり、ネスレはそのうち約70万人と直接協働しています。ネスレの食品飲料に使用する品質の高い原材料の長期的な供給を確保するには、原料がどこでどのように生産されているかを理解するとともに、供給元の農業従事者を支援し、農村開発を推進することが必要です。私たちはこのプロセスに動物愛護の継続的な改善についてのコミットメントも含めており、これに関して2017年に新たな目標を設定しました。

ネスレの農業起業家育成プログラムは、必要不可欠なスキルの研修を実施することで、次世代の農業従事者を支援しています。農作業の改善、別の収入源の開拓、食事の多様性の改善のための研修を実施します。

ネスレは国際赤十字・赤新月社連盟（IFRC）と連携し、ネスレ製品用に調達を行う一部の地域において、水、公衆衛生と衛生設備の利用や女性の地位向上を支援しています。

57%

12の主要カテゴリーの原材料と紙の総量のうち、責任ある調達の実施割合

2025年

2025年までにネスレは、世界的にネスレの全食品製品で使うすべての鶏卵をケージフリー(平飼いの鶏)の卵にします

投資家にとっての付加価値

食品や飲料の産地や、生産過程で人権が尊重されているかを知りたいと考える消費者はますます増えています。「ネスプレッソAAAプログラム」「ネスカフェ プラン」「ネスレ カカオプラン」などネスレの責任ある調達活動によって、ネスレのサプライチェーンは確実に強固になり、消費者への商品の差別化も進みます。

ペットフードの責任ある調達：ネスレはタイ政府およびサプライヤー1社と協力し、ショーケースとなる広報の船を建造しました。この船は、水産業界における労働者の権利侵害に対処するための研修に利用されます。

ネスレは他のパートナー企業とともに、2014年以降、9万5,000あまりの雇用と研修の機会を若者に提供しています。

ネスレの事業活動における人権を尊重し推進する

人権侵害は、ネスレのサプライチェーンにあってはならないものです。そのため、ネスレは事業活動とバリューチェーンの全体にわたり、世界的規模で、また現地レベルで人権の尊重を推進しています。引き続き最も高い倫理基準を満たすように努め、パートナーとサプライヤーにも同様の高い基準を守るよう強く求めます。そのためには、長期的なコミットメントと努力が必要です。私たちは、強制労働やジェンダー格差から腐敗まで、さまざまな課題に対するネスレの取り組みについて、今後も常にオープンに透明性をもって公表していきます。

ネスレは責任ある調達活動を通じ、2015年に特定した人権に関する11の重要な課題に基づいて具体的な対策をとります。この取り組みの一環として、2017年に、『農業サプライチェーンにおける労働者の権利：ロードマップ』を公表しました。このロードマップにより、ネスレの12の主要な調達品の調達先のうち、労働リスクのレベルが特に高い11カ国を特定し、優先することができました。この過程を通じて、労働者の権利是正の取り組みの対象をさらに的確に定められるようになりました。

13件

ネスレが影響力の高い事業活動をしている国で実施した人権影響評価の完了件数

96,599人

2011年以降、人権について教育を受けた社員数

公正な雇用と多様性を推進する

公正な雇用、多様性(ダイバーシティ)と受容(インクルージョン)は、ネスレの企業風土に不可欠なものです。ネスレは、社員が最大限に能力を発揮できる、安全で働きがいのある職場を提供することを目指しています。社員に平等な能力開発の機会を与え、互いに尊厳と敬意をもって接します。

ネスレは若者の失業問題に特に重点を置いています。2017年には、*Nestlé needs YOUth*イニシアチブをネスレのバリューチェーン全体に拡大することを発表しました。2030年までに世界の1,000万人の若者が経済的機会に触れられるように支援することを目指します。そうすることで、私たちが暮らし、働くコミュニティの発展を支援すると同時に、人材パイプラインも確保できます。これが組織に多様性と新たなスキルをもたらし、現地のイノベーションと起業家精神を養います。

30,157件

2017年に30歳未満の若者に提供された雇用の数
また11,710件の研修生もしくは実習生の枠を提供

97%

ネスレの拠点がある国、地域のうち、健康・ウェルネスのプログラムが実施されている国、地域の割合

未来の世代のために
資源を守ります

ネスレはパートナーやステークホルダーとともに、ネスレの事業活動における環境負荷ゼロを目指すという長期的な目標に向けて取り組んでいます。持続可能な形で管理された再生可能資源を使用する、事業の効率性を高める、廃棄物ゼロを目指す、そして水の管理を改善するための明確なコミットメントと目標を設定しています。また、食品ロスと廃棄の削減と、森林、海洋、そして生物多様性を保全するイニシアチブにも引き続き積極的に参加します。

2017年10月、ネスレ パキスタンのウォータープランが発表されました。ラホール経営大学および世界自然保護基金（WWF）との協力で実施されるこの計画では、水資源保全の促進、持続可能な農業手法の導入、清潔で安全な水へのアクセスの提供に取り組みます。

水を大切に使う

水は、貴重な共有資源です。私たちは持続的に水を使わなければなりません。ネスレは、水を利用することは人の基本的な権利だと確信しています。世界のすべての人に、清潔で安全な飲料水と公衆衛生を利用する権利があります。

水を大切に使うことは、事業活動において環境負荷ゼロを目指すというネスレの長期的目標を達成するための肝となる部分です。水はネスレの事業に欠かせません。ネスレが調達する原料の栽培にも、工場の操業にも水が必要です。消費者が、多くのネスレの食品飲料を楽しむ際も水を使います。

ネスレのイニシアチブは、製品1トンあたりの取水量をさらに削減し、事業活動において水を再利用する方法を引き続き探ります。また、ウォーター・スチュワードシップ（水の管理）のイニシアチブに関して外部機関と協力し、安全な水、公衆衛生と衛生施設を利用する機会の拡大に努めます。

38.1%

製品1トンあたりの取水量を2007年と比較して削減した割合

20カ所

ネスレ ウォーターズが、アライアンス・フォー・ウォーター・スチュワードシップ（AWS）との連携強化により、2020年までに認証取得を目指すと発表した工場の数

投資家にとっての付加価値

ネスレは、持続可能性の高い食品飲料を提供することにより、ネスレブランドを選ぶ理由をより多く消費者に提示し、収益増につなげます。事業効率の向上、資源管理の改善、廃棄物の削減により、コスト削減を実現しています。気候変動の適応、緩和策や責任ある水管理に投資することにより、事業活動のための資源のさらに持続可能な供給を確保しています。

ブラジルのモンテス クラロスにある「ネスカフェ ドルチェ グスト」の工場は、取水量ゼロ、廃棄物ゼロ、温室効果ガス排出量正味ゼロという3つのゼロを達成しました。

ネスプレッソはグローバルなリサイクルスキームを拡大し続けており、2017年には2,500万スイスフランを投資しました。

気候変動に対応する

気候変動は地球規模の大きな課題です。気象パターンの変化が食料安全保障を脅かし、消費の変化が天然資源を圧迫しています。ネスレはその大きさや規模から、気候変動に関する真のリーダーシップを示し、温室効果ガス排出量のさらなる削減と再生可能エネルギーの使用拡大の方策を見出すことができます。ネスレは気候変動に関するパリ協定に沿って、意欲的な温室効果ガス削減目標を設定しました。

ネスレの再生可能エネルギーの調達量は、2016年と比べて倍増しました。現在では100カ所以上の拠点で、使用後のコーヒーかすや木くずなどを利用した再生可能な電力を供給しています。これらを含めた多数の取り組みにより、ネスレは環境サステナビリティに関する格付機関CDPが毎年公表する気候変動Aリストに選定され、2017年のダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス（DJSI）で食品産業部門の第1位となりました。

25.7%

ネスレが使用する電力に占める再生可能資源の割合。ドイツ、イギリス、アイルランド、ブラジルなどの市場では、電力の100%を太陽光、風力、水力から調達

33.2%

製品1トンあたりの温室効果ガス排出量（スコープ1と2）を2007年と比較して削減した割合

環境を守る

ネスレのすべての食品製品の原材料は、動植物、森林、農場、海に由来します。こうした要素が生育し、生息する自然環境を保護することが不可欠です。

ネスレは、環境パフォーマンスを改善しながら事業を発展させ、さらに持続可能な形で供給された天然資源や原材料が製品生産で利用されることを目指します。

ネスレは、食品ロスと食品廃棄を減らすために引き続き貢献していきます。ネスレの各拠点で、廃棄物ゼロの達成を最終的な目標として、リデュース（削減）、リユース（再利用）、リサイクル（再生利用）に取り組みます。農業レベルでは、1,000人以上の農学研究者と補助スタッフで構成されるチームが、農法の改善、廃棄の削減、農地の健全性と生産性の維持についての研修を農業従事者に提供します。

253カ所

2017年に廃棄物ゼロを達成した工場の数

100%

ネスレ ウォーターズは、100%バイオベースの素材で作られた完全リサイクル可能なプラスチックボトルの開発を目指すプロジェクト「ナチュオール ボトル アライアンス（Natur'ALL Bottle Alliance）」に参加

2020年のコミットメント

個人と家族、コミュニティ、地球という、ネスレが影響をもたらす3つの分野は相互に関連しており、各分野におけるネスレの取り組みは、41のコミットメントによって支えられています。これによりネスレはそのパフォーマンスについての公的な説明責任を負い、目標に照らした進捗状況を年に1回報告しています。

すべてのコミットメントは、ネスレの企業としての存在意義、2030年に向けた長期的目標、そして国連の持続可能な開発目標（SDGs）に直接的に関連しています。コミットメントの大部分は、2020年に向けた具体的な目標によって支えられています。

右表は、2020年に向けたコミットメントに照らした現在の進捗状況をまとめたもので、2017年末までに達成されたコミットメントをチェックマークで示しています。ネスレのウェブサイトで公開している完全版の報告書で、より詳しい情報と最新の進捗状況をご覧いただけます。

主要指標のパフォーマンス

ネスレの取り組みは賞や評価を動機とするものではありませんが、私たちのサステナビリティ活動と実績が世界を代表する格付機関や評価機関に認められていることを誇りに思っています。

FTSE4Good	母乳代替品メーカーとして**初めて**FTSE4Good（フィッチフォーグッド）指標に登録され、6年連続でその地位を維持。
ACCESS TO NUTRITION INDEX™	2016年の栄養へのアクセス指標（ATNI）において、世界的な食品飲料メーカー22社のうち**第2位**。
MEMBER OF Dow Jones Sustainability Indices In Collaboration with RobecoSAM	2017年の**ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス（DJSI）**で、総合スコアで100点中89点の評価を受け、食品部門で**第1位**。
CDP DRIVING SUSTAINABLE ECONOMIES	2017年の**CDP気候変動**でグローバル企業の**第1位**となり、CDPの気候変動Aリストに選定。
Ceres	グローバル企業42社の水リスク管理パフォーマンスを比較した**セリーズ**による分析「Feeding Ourselves Thirsty」において、包装食品業界で**トップスコア**をマーク。

個人と家族のために

さらにおいしく健康的な製品やサービスを提供する	
特に妊娠中や出産後の女性と子ども向けに、栄養のある食品飲料製品の発売を増やす	
糖類、食塩、飽和脂肪酸をさらに削減する	
ネスレの食品飲料製品に含まれる野菜、食物繊維の豊富な穀類、豆類、種実類を増やす	
ネスレの製品材料リストを簡素化し、合成着色料を除去する	
微量栄養素の強化を通じて、低栄養の問題に取り組む	
さらに健康的な生活を奨励する	
パッケージ、店頭とウェブサイトで栄養情報を表示し、説明する	
ネスレ製品のポーション（1食分）ガイダンスを提供する	
子ども向けのマーケティングは、栄養バランスの良い食事に役立つ製品に限る	√
親や保護者、教員による子どもの健康的な行動育成を支援する	
ネスレのマーケティング活動を利用して、健康に良い料理、食習慣、ライフスタイルを奨励する	
母乳代替品の適正な販売に関する業界最高レベルの方針を継続的に実行することにより、母乳育児を支援する	
さらに健康的な生活のために水を飲むように奨励する	
健康的な食環境を推進するための協力活動を行う	
栄養知識を構築、共有、応用する	
初めの1,000日から健康的な加齢までの栄養に関する知識を構築し、共有する	
健康を促進する製品、パーソナルニュートリション（個別化した栄養）、デジタルソリューションにつながる生物医科学を推進する	

コミュニティのために

農村開発と農村での生活を向上させる	
農業従事者のニーズを理解するために農村開発基礎評価を実施する	√
ネスレのサプライヤーである農業従事者の農場の経済状態を改善する	
ネスレのサプライヤーである農業従事者の食料の入手可能性と食事の多様性を改善する	
サプライチェーンにおける責任ある調達を実施し、動物愛護を推進する	
ネスレのコーヒー生豆サプライチェーンを継続的に改善する	
カカオ農家とともに「ネスレ カカオプラン」を実施する	
人権を尊重し推進する	
事業活動全体における人権への影響を評価し対処する	
ネスレの農業サプライチェーンにおいて労働者の生活を改善し、子どもを保護する	
組織全体で誠実な企業風土を醸成する	
公正な雇用と多様性を推進する	
事業全体において*Nestlé needs YOUth*イニシアチブを実施する	
『ネスレの経営に関する諸原則』、栄養、環境サステナビリティに関する研修を実施する	√
社員の男女比バランスを改善し、バリューチェーン全体で女性の地位を向上させる	
健康的な職場と社員の健康増進を奨励する	
社員とステークホルダーに実効性のある苦情処理の仕組みを提供する	

地球のために

水を大切に使う	
事業全体における水の利用効率とサステナビリティの向上に取り組む	
効果的な水の利用方針と水の管理を推進する	
適切に排水を処理する	√
サプライヤー、特に農業従事者と協力する	
水の保全意識を高め、バリューチェーン全体での水と公衆衛生へのアクセスを改善する	
気候変動に対応する	
気候変動リーダーシップを発揮する	
気候政策における透明性と積極的かつ長期的な取り組みを推進する	
環境を守る	
製品が環境に与える影響を評価し最適化する	√
ネスレ製品パッケージの環境パフォーマンスを改善する	
食品ロスと廃棄を削減する	
有意義で正確な環境情報を提供し対話する	
森を含む自然資本を保全する	

√ 2017年末までに達成されたコミットメント